

観光資源を活かしたまちづくり

本市には、「海・港」や「赤れんが」をはじめとした自然・歴史・文化などのポテンシャルの高い地域資源が豊富に存在しています。今年度は、本市が未来へ向けて大きく飛躍するターゲットイヤーとして、これまで取り組んできた基礎固めをさらに押し進めながら戦略的な施策の推進を図っています。シリーズ市政の「今」第24回は、観光資源を活かしたまちづくりの取り組みについてお知らせします。

まちのにぎわいと観光消費額の増加

7月18日、念願であった京都縦貫自動車道が全線開通し、舞鶴若狭自動車道と併せた高速道路環状ネットワークが完成しました。これら観光周遊ルートによる観光客数や観光消費額の増加が期待される中、これまでに以上に「海の京都観光圏」としての本市の役割が重要になっています。

現在、府北部5市2町で開催している「海の京都博」(写真1)の関連イベントとして「まち歩き」「まち体験」などを行う「まいづるまち博」を開催。クルーズ船受け入れ事業などで増加する外国人観光客も含め、にぎわいを商店街などのまちなかへ拡大し、観光消費額の増加につなげていきます(図1)。また、文化

「舞鶴」ブランド力の向上

本市の平成26年の観光入込客数は231万人(図2)。「海・港」と「赤れんが」をシンボルイメージとした魅力あふれる地域資源を最大限に活かしたこれまでの取り組みにより、観光入込客数をはじめとした交流人口は着実に増加しています。

今年度もさらなる観光ブランド力のアップを図るため、市長のトップセールスのもと、首都圏や京阪神などで観光プロモーションを実施(写真2)。舞鶴かに®やカキ、舞鶴かまぼこなどの水産物や万願寺甘とう、舞鶴茶をはじめとする農産物など、優れた地元食材の「食」のブランド力向上に努めています。また、オンラインワンの魅力である海上自衛隊と連携

財となっている地域の伝統行事など、まちのタカラモノとの連携した取り組みや舞鶴・伊根間の港を巡る遊覧船の運航など海を活かした観光振興も促進。今後も、「まいづるまち博」の通年実施を検討するなど、交流人口の拡大を目指し、地域経済の活性化を図っていきます。



▲写真1：海の京都博開会式典

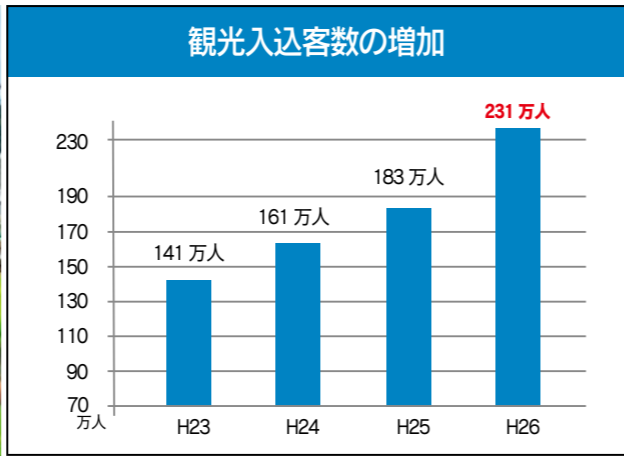


図2：観光入込客数の推移



▲写真3：赤れんがハーフマラソン2015



▲写真4：舞鶴市みらい戦略推進会議



▲写真5：舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり構想策定懇話会

した海軍ゆかりの地域資源の新たなブランド化を進めるなど、誘客拡大に向けたブランドプロモーション事業を展開しています。

スポーツイベントによる地域活性化

10月12日には、今年で3年目となる赤れんがハーフマラソンを開催。赤れんが倉庫群や海上自衛隊のヘリコプター基地、北畝岸壁を走る全国にも類を見ないコースを2,375人のランナーが疾走しました(写真3)。

また、4月のジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会や8月の全国高校総体レスリング競技大会などの大規模なスポーツイベントの開催は、選手をはじめとした多くの参加者が本市を訪れ、スポーツを通じた交流の促進と観光消費の拡大が期待できるところです。

舞鶴版地方創生の推進

本年5月には、全国で7番目の策定となる舞鶴版地方創生「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を公表。「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向けた施策の方向性を明確に打ち出しました。7月21日には、産官学金労言(※)などをはじめとする各種団体で構成する「舞鶴市みらい戦略推進会議」を設立。20年後30年後の元気な舞鶴を築くため、各々が主体となり総合戦略にあ

る「思い」を共有しながら地域一丸となって地方創生を推進してまいります(写真4)。

日本有数の一大交流拠点づくり

市では、交流人口の拡大に伴う地域経済の活性化、雇用の創出などを目指す地方創生の拠点づくりを進めています。本市の貴重な地域資源である「海・港」と「赤れんが」などを活かした交流拠点づくりを進めるため、赤れんがパーク周辺から潮路通りまでのエリアを日本有数の一大交流拠点にする「舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり構想」の策定に着手。10月9日に「構想策定懇話会」を設置し、市民および専門家の皆さんから幅広く意見を聞き、基本構想を平成28年度末までに策定する予定です(写真5)。

未来の輝かしいまちを目指して

今後も市民の皆さんや各団体の協力を得て、まちぐるみで本市の素晴らしさを磨き上げていきます。併せて、海や港、赤れんがパークを核とした観光戦略拠点などの開発や「海の京都エリア観光総合窓口」としての機能強化に努めるなど、さらなる交流人口の拡大を図り、未来に誇れる輝かしいまちづくりに取り組んでいきます。

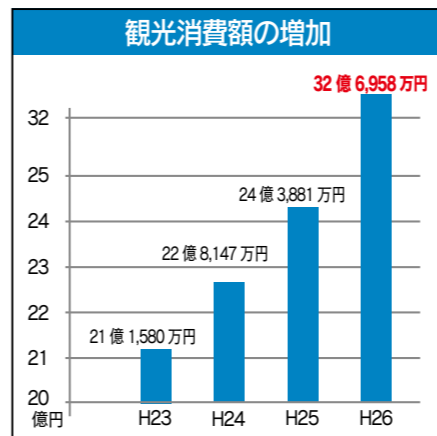


図1：観光消費額の推移



▲写真2：首都圏観光プロモーション(東京プレミアムランチ)の様子

(※) 産官学金労言：産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディアのこと